

将来世代に負担を先送りしないために

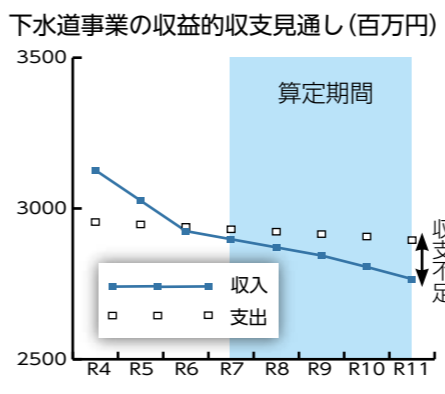
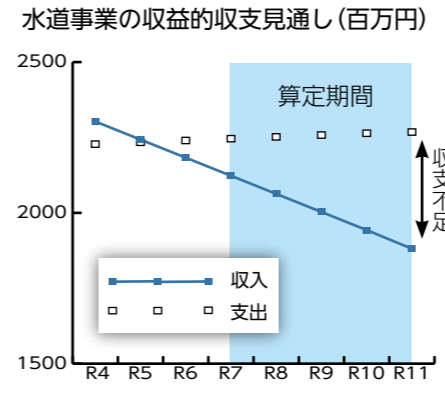
10月1日から水道料金・下水道使用料を改定します

図経営総務課

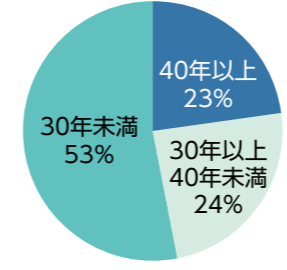
上下水道事業の現状と課題

●**料金・使用料収入の減少**
人口減少や節水機器の普及、ライフスタイルの変化などの影響で水需要が減少し、それにもない水道料金・下水道使用料収入も年々減少しており、その傾向は続くものと見込まれます(左図)。

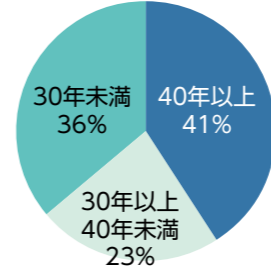
●**施設や管路の老朽化**
本市は地形的な要因により水道や下水道に係る施設数が多い状況です。その多くが高度経済成長期に建設されたため、老朽化が進んでおり、今後も施設や



下水道管(汚水)老朽化グラフ (経過年数)



水道管老朽化グラフ (経過年数)



管路を更新していく必要があります(左グラフ)。

道路陥没事故を起さないために

埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて

●**将来世代に負担を先送りしないために**
●**料金・使用料を改定**
本市の下水道管渠の緊急点検を実施したところ、異常はありませんでした。令和4年にも40年を経過した口径800ミリメートル以上の管渠をテレビカメラ調査したところ、異常はありませんでした。

さらに、これまでも年2回のパトロールや、5年に一度腐食しやすい箇所も点検も行っていますが、いずれも異常はありませんでした。

●**持続性のある経営を**
市民生活・経済活動に欠かせないライフラインである上下水道を守るために、市民みなさんにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。水道料金・下水道使用料改定の詳細は市ホームページをご覧ください。

●**安全安心な上下水道を維持するために**
水道料金・下水道使用料の改定をしなければ、老朽化した施設や水道管・下水道管の更新ができなくなり、漏水事故や断水などが発生する可能性が高まります。上下水道の適切な維持管理を行うためには事業継続に必要な資金を確保する必要があります。

2か月あたりの使用水量別改定額(税込) ※水道メーター口径13mm~25mm

使用水量(m)	水道料金(円)			下水道使用料(円)			水道料金・下水道使用料合計(円)		
	現行	改定後	増加額	現行	改定後	増加額	現行	改定後	増加額
10	1,848	2,241	393	1,731	1,914	183	3,579	4,155	576
20	2,255	2,736	481	2,116	2,343	227	4,371	5,079	708
32(一般家庭平均)	4,472	5,429	957	4,202	4,639	437	8,674	10,068	1,394
50	7,909	9,600	1,691	7,440	8,206	766	15,349	17,806	2,457

10月1日からくみ取り手数料が変わります 図環境衛生課

燃料費や人件費などの高騰により、し尿の収集運搬にかかる経費が増加しています。安定的なし尿収集運搬体制を確保するため、くみ取り手数料を下表のとおり改定します。市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

- くみ取り手数料の例** 2人世帯で簡易水洗式トイレを月2回くみ取りしている場合の月額
- 9月までの料金** ①+②=1760円 **10月からの料金** ③+④=2200円
- ①定額手数料 480円×2人=960円 ③定額手数料 600円×2人=1200円
- ②特殊手数料 200円×2人×月2回=800円 ④特殊手数料 250円×2人×月2回=1000円

手数料の区分	現行	改定後
定額手数料(一般家庭の基本料金)	1人につき月額 480円	600円
特殊手数料(加算料金)	無臭式トイレの場合 収集1回1世帯につき	200円加算
	簡易水洗式トイレの場合 収集1回対象1人につき	250円加算
従量手数料(事業所や臨時のくみ取り時に適用)	最初の300リットルまで	2400円
	以降100リットル増すごとに	800円加算
臨時手数料(一般家庭および事業所等▷臨時くみ取りの場合に加算)	1件につき	1000円
		1250円

●**多発する大規模地震**
全国的に大規模地震が多発しています。予測される大規模災害に備え、災害に強い上下水道を実現していくため施設や管路の耐震化を進めていく必要があります。

●**水道施設の効率の低下**
水需要の減少にともない、既存の水道施設能力と水需要の差が広がり、施設効率が低下しています。今後、施設を効率的に運用していくために、施設をダウンサイジングしていく必要があります。

●**渇水の発生**
近年では令和元年度、4年度、5年度に降雨量が少なかったことにより、渇水が発生しました。今後の渇水に備え、新たな水源を確保することにより水源の安定化を図るとともに、渇水対策に係る資金を確保しておく必要があります。また、今後予測される大規模災害に備える観点からも水源の安定化が求められます。

●**上下水道事業の取り組み**
●**これまでの経営効率化**
事業の経営効率化のため、これまで上下水道事業では包括的民間委託や組織のスリム化、施設の休廃止計画の見直しなどにより維持管理経費の削減や施設のダウンサイジングに取り組んできました。

●**上下水道事業の経営基盤強化の必要性**
●**厳しい経営状況**
上下水道事業の収益的収支は、水道料金・下水道使用料収入の減少や物価高騰の影響などによる費用の増加により令和6年度予算ベースで赤字となっており、水道料金・下水道使用料を改定しなければ令和7年度以降も赤字が続く見込みでした。経営努力だけでは事業の実施に必要な資金の確保が難しくなっており、厳しい経営状況が続いています。

- 暮らし
- 障がい者
- 安全安心
- 健康
- 税金
- 高齢者
- 保険・年金
- 子育て
- 教育
- 就労
- 人権
- 事業所
- 催し・講座
- スポーツ
- 募集
- その他
- お知らせ
- 相談